



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社リニカル
コード番号 2183 URL <https://www.linical.com/ja/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秦野 和浩
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 高橋 明宏 TEL 06-6150-2582
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	6,064	2.4	421	12.8	483	△21.3	178	△61.8
2023年3月期第2四半期	5,920	7.2	373	△26.4	614	23.9	468	85.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 708百万円 (△24.9%) 2023年3月期第2四半期 943百万円 (244.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	7.92	—
2023年3月期第2四半期	20.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	18,211	7,973	43.8	353.02
2023年3月期	17,464	7,581	43.4	335.65

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 7,973百万円 2023年3月期 7,581百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	13,300	6.3	1,400	11.4	1,400	9.1	1,008	0.4	44.63

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	24,740,000株	2023年3月期	24,740,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	2,153,564株	2023年3月期	2,153,564株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	22,586,436株	2023年3月期2Q	22,586,436株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2023年12月1日（金）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第2四半期連結累計期間の経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、欧州等が前年同期比で減収となったものの、米国が好調に推移し大幅な増収となったことに加え、為替が円安となったこと等により、連結の売上高は増収となる6,064百万円（前年同期比2.4%増）となりました。利益面では、欧州が第1四半期に続き営業赤字となったものの、米国と日本が増益となったことから営業利益は421百万円（前年同期比12.8%増）となりました。経常利益は外貨預金等により為替差益69百万円等が発生したものの前期の発生額を下回ったことから483百万円（前年同期比21.3%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期に保険金の受取が発生したことに対して、今期は欧米子会社の経営管理体制の統合に伴う事業構造改善費用147百万円が発生したことから178百万円（前年同期比61.8%減）となりました。

②地域別の状況

日本においては、新型コロナウイルス感染症が5類に分類され治験環境が改善し、順調に受注案件を消化して売上高を計上しているものの、第1四半期に既存案件の中止が発生した影響が大きく前年同期比で減収となりました。利益面では経費の抑制等により増益となりました。引き続き、経費削減を継続し、新規案件の獲得に努めてまいります。

米国においては、前年同四半期は米欧地域で大型国際共同治験の開始遅延があった一方で、当期は既存案件の進捗が想定を上回って推移したことに加え、為替が円安に推移したこと等により前年同期比で大幅に増収増益となりました。なお、現在米国のバイオテック企業の引き合いは旺盛であり、引き続き米国CRO市場の深耕に注力し、持続的な成長を図ってまいります。

欧州においては、既存試験の中止や新規案件の開始延期、既存試験の進捗が想定を下回ったことに加え、バイオベンチャーの資金調達が難しい環境で新規案件の受注獲得が想定を下回り前年同期比で減収、営業赤字となりました。欧州経済はロシア・ウクライナ紛争など地政学リスクの高まりからエネルギー価格の高騰や高インフレが継続し、これに対処する高金利政策が、ドイツをはじめとした欧州の経済情勢にマイナスの影響を与えています。このような欧州の景況感の悪化に対応するため、米国事業との連携をより一層推し進め、営業面でグローバル・シナジーをさらに強化することで、米国企業からの欧州を含む新規案件の受注獲得を拡大してまいります。

韓国においては、既存案件の順調な進捗や複数の新規案件の開始等に加え、円安の影響もあり前年同期比で増収となりました。利益面では先行的な人材投資により減益となりました。

中国においては、既存案件の収束に伴う売上減少等により前年同期比で減収減益となりました。

台湾においては、既存案件で中止が発生したことや、新規案件の開始延期などにより、前年同期比で減収、営業赤字となりました。

なお、アジアにおいては、日本、米国と営業面での連携を強化して現地製薬会社からの受注の掘り起こしに注力しており、複数の新規顧客から案件の打診を受けるなどしております。

③セグメント別の経営成績

CRO事業

当社グループのCRO事業につきましては、売上高は5,682百万円（前年同四半期比3.9%増）、営業利益は1,382百万円（同36.3%増）となり、前年同期比で増収増益となりました。

育薬事業

当社グループの育薬事業につきましては、売上高は381百万円（前年同四半期比15.5%減）、営業利益は109百万円（同33.4%減）となり、前年同期比で減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ747百万円（4.3%）増加し、18,211百万円となりました。これは、主に現金及び預金の増加等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ355百万円（3.6%）増加し、10,238百万円となりました。これは、主に前受金及び預り金の増加等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ392百万円（5.2%）増加し、7,973百万円となりました。これは、主に為替換算調整勘定の増加等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より274百万円増加し、7,316百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は631百万円（前年同四半期は659百万円の獲得）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益374百万円、預り金の増加額382百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果獲得した資金は18百万円（前年同四半期は27百万円の使用）となりました。これは、主に投資事業組合からの分配による収入41百万円、投資有価証券の取得による支出10百万円及び差入保証金の差入による支出14百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は705百万円（前年同四半期は636百万円の使用）となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出269百万円及び配当金の支払額315百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

① 概要

当第2四半期連結累計期間において、当社の経営戦略の現状と見通しについて重要な変更はありません。引き続き、当社グループは受託業務の選択と集中を推し進め、既存のCROとの差別化を図ってまいります。

2024年3月期通期の業績予想につきましては、本年5月15日に発表いたしました内容に変更はありません。

② 受注残高の推移

当社グループのCRO事業において受託する治験業務では、1年から3年程度の治験実施期間において、症例数や対象疾患に起因する治験の難易度などにより受託総額が決定します。この実施期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い毎月売上が発生します。育薬事業においても、同程度の期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い毎月売上が発生します。

受注残高は、既に契約を締結済みの受託業務の受注金額の残高であります。これは、今後1年から5年程度の期間で発生する売上高を示しており、当社グループの今後の業績予想の根拠となる指標であります。

表. 受注残高の推移

(単位：百万円)

	2023年 3月期末 (A)	2024年3月期		増減率% (B-A)/A
		第2四半期末	2023年11月 14日時点 (B)	
受注残高	20,933	18,805	18,199	△13.1
地域別	日本	8,195	6,809	△26.4
	米国	5,798	5,266	△6.4
	欧州	5,252	5,137	△0.8
	アジア	1,686	1,592	△9.1

各地域の受注状況につきましては、以下のとおりです。

日本・アジア地域においては、新規の受注の獲得や工数を増加する契約変更等があったものの、新型コロナウイルス感染症が5類に分類され治験環境が改善して順調に受注案件を消化し売上高を計上したことに加え、試験の早期終了による契約変更が発生した結果、2023年3月期末から受注残高が減少しました。なお、上記の受注残高には含まれておりませんが、受注内諾を受け契約締結作業中の複数の新規案件があります。その他にも複数の新規案件の打診を受けており、受注残高の積み上げに向け、営業活動を継続しております。

米国においては、複数の新規案件の契約締結や工数を増加する契約変更がなされましたが、契約業務の高い進捗により順調に受注残高を消化し売上高を計上した結果、2023年3月期末から受注残高が減少しました。また、受注内諾を受け、契約締結作業中で上記受注残高には含まれない新規案件があります。引き続きバイオテックの開発意欲は旺盛で引き合いも多く、グローバル案件等の複数案件の打診を受けており、受注残高を積み上げるべく、営業活動を継続しております。

欧州地域においては、新規案件の受注獲得や工数を増加する契約変更等もありましたが、既存の受注案件を消化し売上高を計上した結果、2023年3月期末から受注残高が減少しました。なお、上記の受注残高には含まれておりませんが、受注内諾を受け契約締結作業中の新規案件があります。欧州経済においては減速感がみられ、今後の受注環境に先行き不透明感はありますが、受注の積み上げに向けた営業活動を継続しております。また、米国事業との連携をより一層推し進め、営業面でグローバル・シナジーをさらに強化することで、米国企業からの欧州を含む新規案件の受注獲得を拡大してまいります。

以上の受注環境のもと、2023年11月14日時点の受注残高は181億円となっております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,042,100	7,316,765
売掛金及び契約資産	3,427,995	3,395,386
前払費用	243,216	281,404
立替金	1,037,607	1,080,191
その他	270,534	457,445
貸倒引当金	△12,786	△13,799
流動資産合計	12,008,667	12,517,394
固定資産		
有形固定資産	625,008	545,853
無形固定資産		
のれん	3,384,139	3,666,042
その他	127,054	127,747
無形固定資産合計	3,511,194	3,793,790
投資その他の資産		
投資有価証券	372,806	308,156
長期前払費用	999	138
差入保証金	374,096	390,388
繰延税金資産	571,835	656,275
投資その他の資産合計	1,319,737	1,354,959
固定資産合計	5,455,940	5,694,603
資産合計	17,464,607	18,211,998

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	600,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	539,976	539,976
未払金	579,604	592,793
未払費用	375,821	324,427
未払法人税等	311,502	308,399
未払消費税等	86,222	36,547
前受金	2,207,195	2,447,966
預り金	1,700,434	2,249,948
賞与引当金	159,922	180,993
その他	174,834	144,783
流動負債合計	6,735,513	7,425,836
固定負債		
長期借入金	1,993,590	1,723,602
リース債務	408,621	345,881
退職給付に係る負債	718,354	715,436
その他	27,313	27,745
固定負債合計	3,147,878	2,812,666
負債合計	9,883,392	10,238,502
純資産の部		
株主資本		
資本金	214,043	214,043
利益剰余金	7,293,144	7,155,840
自己株式	△657,461	△657,461
株主資本合計	6,849,726	6,712,421
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78,152	62,905
為替換算調整勘定	616,973	1,166,210
退職給付に係る調整累計額	36,362	31,958
その他の包括利益累計額合計	731,489	1,261,074
純資産合計	7,581,215	7,973,496
負債純資産合計	17,464,607	18,211,998

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	5,920,703	6,064,464
売上原価	4,080,222	4,079,827
売上総利益	1,840,481	1,984,637
販売費及び一般管理費	1,467,050	1,563,405
営業利益	373,430	421,231
営業外収益		
受取利息	270	12,703
為替差益	265,598	69,470
営業外収益合計	265,868	82,174
営業外費用		
支払利息	6,694	9,188
投資有価証券評価損	15,523	10,359
その他	2,395	—
営業外費用合計	24,613	19,547
経常利益	614,686	483,858
特別利益		
受取保険金	50,000	—
子会社清算益	34,721	37,776
特別利益合計	84,721	37,776
特別損失		
リース解約損	20,478	—
事業構造改善費用	—	147,402
特別損失合計	20,478	147,402
税金等調整前四半期純利益	678,929	374,232
法人税、住民税及び事業税	211,376	226,730
法人税等調整額	△1,260	△31,404
法人税等合計	210,116	195,326
四半期純利益	468,813	178,905
親会社株主に帰属する四半期純利益	468,813	178,905

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	468,813	178,905
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,518	△15,247
為替換算調整勘定	484,632	549,236
退職給付に係る調整額	△657	△4,404
その他の包括利益合計	474,456	529,585
四半期包括利益	943,270	708,491
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	943,270	708,491

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	678,929	374,232
減価償却費	93,353	86,465
のれん償却額	157,472	168,405
長期前払費用償却額	1,696	1,559
事業構造改善費用	—	147,402
リース解約損	20,478	—
受取保険金	△50,000	—
子会社清算損益 (△は益)	△34,721	△37,776
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,775	15,917
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△25,895	△495
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	22,101	△23,770
受取利息及び受取配当金	△270	△12,703
支払利息	6,694	9,188
投資有価証券評価損益 (△は益)	15,523	10,359
為替差損益 (△は益)	△180,207	△69,775
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△55,344	219,815
立替金の増減額 (△は増加)	△396,553	41,666
前払費用の増減額 (△は増加)	△72,863	△25,135
未払金の増減額 (△は減少)	224,151	△21,673
未払費用の増減額 (△は減少)	△110,585	△86,759
前受金の増減額 (△は減少)	1,267	△2,977
預り金の増減額 (△は減少)	550,157	382,506
その他	△191,111	△38,352
小計	647,496	1,138,100
利息及び配当金の受取額	270	12,703
利息の支払額	△6,734	△9,194
法人税等の支払額	△11,394	△373,424
事業構造改善費用の支払額	—	△137,008
リース解約損の支払額	△20,478	—
受取保険金の受取額	50,000	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	659,160	631,176
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,031	△1,716
無形固定資産の取得による支出	△1,379	—
投資有価証券の取得による支出	△10,000	△10,000
投資事業組合からの分配による収入	—	41,968
長期前払費用の取得による支出	△39	△19
差入保証金の差入による支出	△8,799	△14,570
差入保証金の回収による収入	77	2,831
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,172	18,493
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△269,988	△269,988
配当金の支払額	△315,618	△315,483
リース債務の返済による支出	△51,086	△120,046
財務活動によるキャッシュ・フロー	△636,692	△705,518
現金及び現金同等物に係る換算差額	322,095	330,513
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	317,389	274,665
現金及び現金同等物の期首残高	5,985,618	7,042,100
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,303,008	7,316,765

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。